



第4次水道事業総合計画

～はちのへ水ビジョン2019～

平成30年9月
八戸圏域水道企業団

地域の水を守るため
進化し続ける八戸圏域水道





八戸圏域水道企業団
企業長 小林 眞

はじめに

広域水道をスタートさせてから32年が経過しましたが、現在の八戸圏域は、人口減少、水需要減少などによる水道料金収入の減少や施設の老朽化が進行しており、重要施設や基幹管路等の耐震化や将来の水需要に見合うような老朽化施設・設備の更新や改良、そしてそれらの財源確保が求められています。加えて水源水質問題や危機管理対策、技術継承などハード・ソフト両面で多種多様な課題が山積し、厳しい経営環境に直面しています。

このような中、従来の事業運営では、これら山積した課題を確実に解決し将来に向けて水道の使命を果たすことは困難であることから、現状よりさらに効率的・効果的な事業運営に進化させ、将来にわたり地域全体が安定し、かつ、持続するための水道を目指していくことが必要と考えています。

そのため、「新水道ビジョン」(厚生労働省)に基づく「安全な水道」、「強靱な水道」及び「水道サービスの持続」の施策目標を連携や挑戦などにより実現、維持していくこと、そして「経営戦略」(総務省)に求められている中長期的な視野に立った経営を行い、徹底した効率化により、経営の安定化を確立させることが、50年後、100年後まで安定して水道事業を持続させる道であると確信しています。

これまで当企業団では、平成21年度に「第3次水道事業総合計画」(おらほの水ビジョン2009)を策定し、その中に4つの基本的視点を掲げ、事業を運営して参りましたが、このたび、平成31年度からの「第4次水道事業総合計画」(はちのへ水ビジョン2019)を制定し、八戸圏域における今後50年間を見通しながら、「水道事業ビジョン」の位置付けと「経営戦略」を包含した、これからの10年間にやるべき運営方針を示しました。

今後は、当企業団が地域の水道のリーダーであることを自覚し、『地域全体の水道事業体として安全でおいしい水を安定してお客様に供給する』という、これまでも、そしてこれからも変わらない基本的使命を果たすべく、社会情勢や需要動向を的確に把握し、着実に計画を実現して参ります。

平成30年9月

【 八戸圏域水道企業団 第4次水道事業総合計画 】
～ はちのへ水ビジョン2019 ～

目 次

第1章 第4次水道事業総合計画の目的と位置付け	5
1.1 目的	6
1.2 位置付け	6
1.3 基本理念及び基本目標	7
第2章 事業・施設の概要	9
2.1 企業団の沿革	10
2.2 企業団の運営体制	11
2.3 施設の概要	12
2.4 水需要の実績	21
第3章 現状と課題	23
3.1 視点と課題	24
3.2 安全 「水道水の安全性確保」	25
3.3 強靱 「確実な給水の確保」	28
3.4 持続 「供給体制の持続性確保」	31
3.5 連携 「地域全体の連携」	34
第4章 将来像	37
4.1 施策体系	38
4.2 水需要の推計	40
4.3 実現方策	47
4.4 財政収支の見通し	72
第5章 事業の評価	77
5.1 目標年度における重要業績評価指標（KPI）	78
5.2 経営指標	79
5.3 計画に対する事業評価	80
資料編	81
資料1 指標解説	82
資料2 用語集	86
資料3 有識者会議	94
資料4 策定委員会	96
資料5 構成市町の紹介	100

※本計画の事業費等はすべて消費税抜きの金額で作成しています。

※計画時点で事業費がないものは0百万円と表記しています。

※平成31年度以降の元号については、現時点で新元号が確定していないため、現在の「平成」で表記しています。